

コロナ 今、何が起きているのか
誰にも予測できなかった新型コロナウイルスの脅威。瞬く間に世界中に拡散し、多くの犠牲者を出しています。

せん。

コロナウイルスへの恐怖

我が国でも、4月16日に「緊急事態宣言」が出され、社会活動や経済活動、文化活動までが自粛に追い込まれました。「不要不急の外出をしない」「密閉・密集・密接を避ける」の通達が浸透し、街や通りから人が消えました。また、「自分が感染源になったら」という不安も生活に大きな制約を加えました。

私たちは、新型コロナウイルス感染症の問題を、「他人事」「よそ事」と捉えていなかったでしょう。全国的な感染拡大でさまざまな問題が起きました。

人のつながりを紡ぎ直す

学校では2月後半から校内行事などを自粛。節目となる卒業式・入学式は当事者や保護者だけの出席で執り行われました。そして、全学校に対する一斉休校措置。学校での学び合い、友だちとの遊び、大好きな給食が子どもたちの生活から消えまじった。

自粛やテレワークが、日常生活を見直す機会にもなりました。

「感染源となった人が悪いのではなく、ウイルスが悪い」という考えの広がりに

「マスクがなければ作れない」と、工夫を凝らした手作りマスクの登場

「惜しいやコロナ一色春が過ぎ」せせらぎ俳句会 森正子
出かけることもできず、季節の移ろいを愛でることもできま

コロナと最前線で闘う医療従事者に「感謝の心」を表す「三イトイットブルー」(建造物を青色に照らす運動)の広がりで、不安を共有したり、家族

の絆を確認する機会となる

中国から届いたマスク

市に届けられたマスクの中に、元中国遼寧省農牧業庁職員郭錦生さんから贈られた1500枚のマスクがあります。昭和15年、泗水町の岩下隆弘さんを中心に同省瀋陽市に渾河開拓団として入植。日本の優れた農業技術と相互信頼関係で、他にはない農場を創りあげます。終戦時も危害を加えられることなく、無事帰国することができました。

その後、農場は中国の模範農場となり、国家再建にも貢献します。

27年後の国交正常化後、岩下俊一さんら2世の人たちが交流を始め、その橋渡しをしたのが郭さんでした。彼の「たとえ国と国との関係が壊れても民間の交流に戸は立てられない」の言葉が今も生きており、思いのこもった中国からのマスクです。(広報きくち6月号27ページ参照)

コロナにより、私たちは多くのことを学ばされ、今、地球規模で新たなしくみや日常が生まれてつつあります。

新型コロナウイルスに便乗した身に覚えのない商品の送り付けに注意!

「新型コロナウイルス感染症に関連して、封筒に入った使い捨てマスクが郵便で届いた。家族も含めて全く注文した覚えがない。請求書は入っていないが、今後どうすればよいか」という相談がありました。これは「送り付け商法」と言います。この商法に対する対応方法について説明します。

①送り付けられる前に事業者から連絡が何もなかった場合

「売買契約」は成立していないので、代金を払ってはいけませんし、相手に連絡もしないでください。商品の送り付けがあった日から事業者による引き取りがないまま14日間を経過したときは、商品を自由に処分してかまいません。その後の事業者による商品の引き取りに応じる必要ありません。

②事前に事業者から電話や訪問などで勧誘があり、売買契約締結の申し込み商品が届いた場合

商品と一緒に契約書面を受け取ってから8日以内であれば、

クーリング・オフができます。書面を受け取っていないらばいつでも可能です。クーリング・オフのやり方も含めて、おかしいと思ったら、不安や心配になったりした場合は、一人で悩まずに消費生活センターにご相談ください。

また、新型コロナウイルス感染症の混乱に乗じて、海外への募金を勧誘する郵便物が届いたといった相談もあります。募金依頼組織が不明確で、あやしいと思ったら、相手に不用意に連絡しないことがトラブル防止には賢明です。心配な場合はご相談ください。

相談を受け付けています

消費生活センターでは、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。電話相談も受け付けています。詳しくはお問い合わせください。



◆シリーズ◆ 菊池一族の遺産

問い合わせ先 菊池一族プロモーション室 ☎0968(25)7267

菊池一族のお抱え鍛冶「延寿」②

菊池千本槍

延寿一族の功績として、13代武重の代に考案されたといわれる『菊池千本槍』があります。1335(建武2)年、足利軍と対峙した「箱根・竹之下の戦い」で、武重率いる菊池軍千人は三千人の敵兵に取り囲まれます。武重はとっさの機転で部下たちに周囲に生えていた竹を切らせて短刀を結わえさせ、相手が攻撃してきたタイミング

で一斉に槍を突き立てるといって、日本で初めての戦法「槍ぶすま」を考案。この作戦は大成功を収め、武重は菊池に帰った後、槍を大量に作成。これが「菊池千本槍」と呼ばれるようになります。槍は後に三つ又のものや幅広のものが広く出回りますが、菊池の槍は刀身が細くまっすぐで、短刀に近い形であることが特徴です。戦時中に、代々伝わる菊池槍を短刀に仕立て直し、出征のお守りとして使われるものも、多く遺っています。

延寿一族の最盛期

15代武光の時代、南朝方に味方していた菊池一族は、後醍醐天皇の皇子懐良親王を迎え、菊池は九州南朝方の中枢である征西府を置く九州の中心地になりました。武光と懐良親王は手を取り合い、当時九州の都であった大宰府を占拠して九州制覇を成し遂げました。南朝方唯一のこの偉業の背景には、国吉、国時らをはじめとする延寿鍛冶が鍛えた、優れた刀剣の潤沢な供給があったと言えるでしょう。

日本三大合戦の一つ「筑後川の戦い」において、仇敵・少弐頼尚を打ち破った後、武光が足元を流れていた小川で太刀を洗ったところ、川は洗い流された血で真っ赤に染まったという逸話が「大刀洗」という地名の由来として残っています。武光が携えていた太刀もまた、延寿の刀であったのかもしれない。

菊池一族と最盛期をともにした延寿一族による、銘に「延三」(「正平」など)、南朝の年号の刻まれた刀剣は、彼らが南朝側の刀工として活躍した確かな証として今の世に残されています。



菊池千本槍
撮影：井上 啓
ディレクション：太由光社

◆絵画連作◆ 幻の都 城下町菊池
絵・文／橋本以蔵

第一章 武光公の築いた絢爛たる都

其の14 深川・菊之池
菊池の地名の由来ともいわれる菊之池。周辺は絶滅種となった和菊が咲き乱れていたといえます。池の美しさに惹かれた以上に、水の確保という点から初代菊池則隆が近くに館を構えたのでしょう。月の美しさに誘い出された一族の若者が妻や郎党と共に池まで散歩に出かける宵もあったことでしょう。

わいふ一番館
問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630
怒留湯誓展と戦争と平和展 期間 8月4日(火)～16日(日)
描き溜めた絵画の数々と、伝えるべき戦争の悲劇を展示。
原式押し花菊池グループ展 期間 8月18日(火)～30日(日)
花に額縁の中で今一度の命を、と心を込めて創作しました。

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

菊池観光協会
問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513
令和2年7月豪雨災害の義援金を受付中
令和2年7月豪雨災害で被災された方々を支援するため、観光協会事務局内に募金箱を設置し、義援金を受け付けています。皆さんからの支援をお待ちしています。

開館時間 午前9時～午後6時
休館日 なし(点検などで臨時的に休館する場合あり)

◆シリーズ◆ 交流の絆 ⑤
申し込み・問い合わせ先 市長公室 ☎0968(25)7252
友好都市・鹿児島県龍郷町

西郷隆盛は、幕府からの追撃を逃れるため奄美大島の龍郷町で「菊池源吾」と名前を変えて暮らしていました。その祖先発祥の地が七城町西郷地区にあります。吾の源は菊池」と、菊池一族の流れであることを意識していたそうです。

菊池源吾をきっかけとして、龍郷町との交流が始まり、平成19年には菊池源吾を語るシンポジウムを開催。市民交流団が龍郷町を訪れるなどして、菊池源吾の足跡を辿り、町民との交流が広がりました。平成24年には友好都市を締結。毎年、市内の第三セクターでは、奄美大島物産フェアも開催されています。

昨年度の交流団派遣時には、奄美大島伝統の泥染めを見学しました